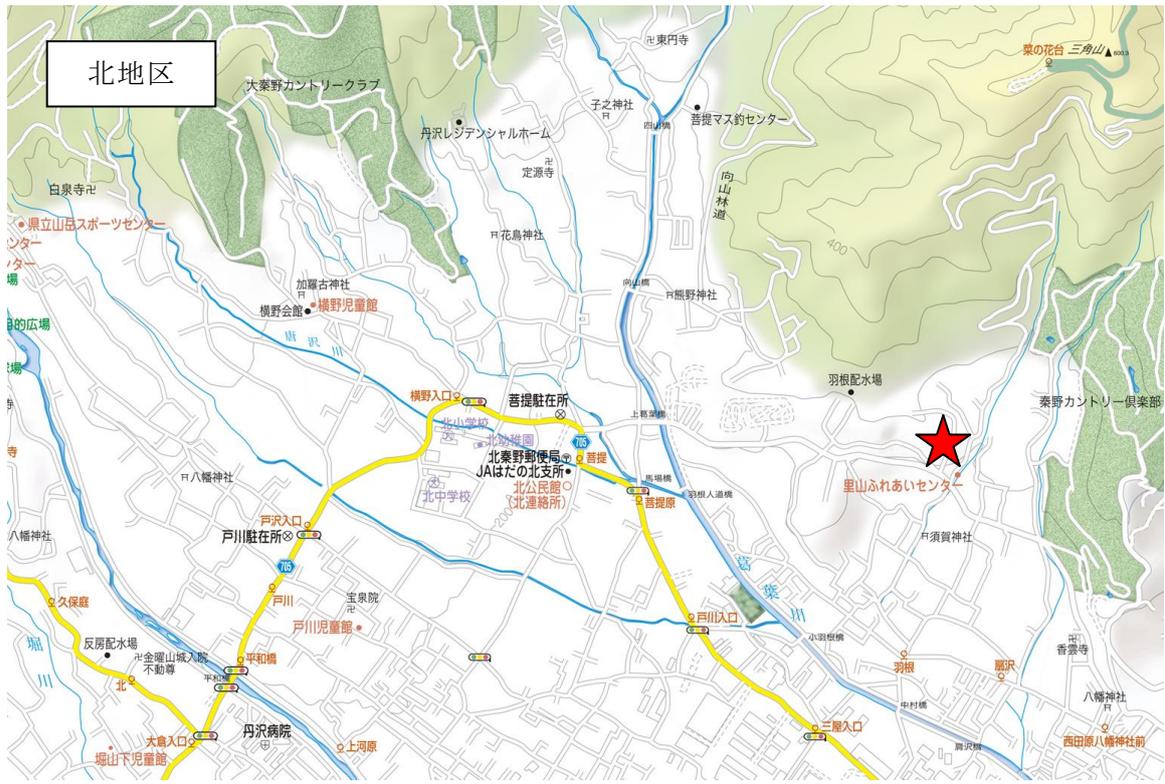


<p>団体名</p>	<p>NPO 法人自然塾丹沢ドン会</p>
<p>団体の概要</p>	<p>全国の里地・里山の荒廃が言われて久しい。価値の減少した里地・里山では農家の足音が聞こえなくなり、自然の循環が途絶えた。</p> <p>丹沢ドン会では、農家に代わって丹沢の麓と都市を結び、人海戦術で棚田の復元活動に取り組んでいる。自然に癒され、仲間づくりをする参加者はそれぞれの居場所を見出す。安全・安心な食べ物づくりを通して生きる源である「食」を考え、小さな地域経済を起こす。人間の都合を少し控えた活動を継続しながら、生物の多様性の実現を図る。</p> <p>それらの活動の結果として、身近な自然である里地・里山を保全・復元して伝統的な農村風景を再生し、次の世代へ伝えることを目的としている。</p>
<p>活動の概要</p>	<p>「丹沢自然塾」の年間メニュー（2015年のカリキュラムは以下の13講座）</p> <p>「開講オリエンテーション・苗づくり種蒔き教室」</p> <p>「棚田の田植え準備教室」</p> <p>「棚田の苗取り・田植え教室」</p> <p>「旬な食材を味わう山ろく料理教室」（秦野市と共催）</p> <p>「田んぼの生き物観察教室＋応急処置教室」（東海大学人間環境学科 北野准教授・ゼミ生と共に）</p> <p>「そばの種蒔き教室」</p> <p>「棚田の稲刈り教室」</p> <p>「山ろくウォーキング＋秦野自然講座」（秦野市と共催）</p> <p>「収穫祭・フォルクローレ ミニコンサート」</p> <p>「新そば・手打ち体験教室」（伊勢原・雨岳文庫で）</p> <p>「木工・竹細工教室」（羽根・里山ふれあいセンター）</p> <p>「里山管理教室」「棚田の苗床づくり教室＋自然塾終了」</p>
<p>活動フィールド</p>	<p>秦野市名古木の復元棚田・竹林・畑。</p> <p>秦野市羽根の里山。</p> <p>伊勢原市下糟屋・雨岳文庫。</p>
<p>会員数</p>	<p>130 家族</p>
<p>会費</p>	<p>ドン会会員：2000 円/年、「丹沢自然塾」大人 1 人：入会金 3000 円、参加費 500 円（自然塾 1 回。収穫祭は 1000 円）。ただし高校生以下は無料。</p>
<p>代表者/連絡先</p>	<p>理事長 片桐 務 / 電話 0463-82-7652</p>

団体 HP	http://www.donkai.com
新規受入れ可能人数	20~30名

【活動場所】



続く

【活動詳細】

		実施活動	時期	一般参加者の受入れの可否	備考
山	林内整備	間伐・下刈り	10～2月	○	
	茸	しいたけ植菌	2～3月	○	
	炭焼き	竹炭窯入れ	1～3月	○	
田んぼ		塩水選、種まき・苗床づくり、田んぼの開墾、田植え、草刈り、稲刈り・ハザ掛け、脱穀	3～10月	○	
畑		野菜づくり、落花生・そばづくり	通年。 そばの種蒔きは8月、刈り取りは10月、そば打ち教室は12月	○	
自然観察		里地・里山の自然観察	通年。田んぼの生き物観察教室は7月	○	
食文化体験		旬な地元食材を味わう山ろく料理教室	6月	○	

その他（意見等）	<p>里地・里山の元気づくりのためには担い手が必要。担い手不足の現実に対処するために丹沢ドン会では、毎年「丹沢自然塾」の塾生を募集している。地元の農家のプロの仕事に対して、ドン会では素人が数を頼りに担い手不足を解消する。もちろん、地元農家の名人の指導を受けながら。一般紙・地元紙への情報提供と、「自然塾」に意義を見出した記者が募集記事を紙面化するという好循環さらに塾生、塾生OBやドン会会員の口コミにより塾生は集まる。毎年、20～30名集まる新規の塾生たちは、1年間の農的・自然体験を経て、ドン会で学んだ生き方・暮らし方をそれぞれの生活の場に生かす。塾生からドン会会員になる人が増えている。塾生・ドン会会員は、県内はもとより、東京・埼玉からも電車・バスを使って参加している。丹沢山麓の里地・里山と都市を結ぶことで、担い手づくりと同時に、都市の暮らしの中に忘れがちな「農的」生活スタイルや感性を養っている。</p>
----------	--